

日本全体でつながり・支えあおう！ すべての働く者の連帯で働くことを軸とする安心社会を実現しよう！



第83回 東日本大震災復興・再生に向けた
愛媛中央メーデー・いきいきフェスティバル開催

連合愛媛は、4月28日(土)に松山市城山公園(堀之内)ふれあい広場において、中村知事をはじめ多数の来賓の方々や組合員とその家族約3,000名の参加で第83回愛媛中央メーデー&いきいきフェスティバルを開催しました。

いきいきフェスティバルには、福島県のフラダンスチームに花を添えて頂き、東北物産販売と併せ東日本大震災復興・再生を願う取り組みとしました。

式典では、木原実行委員長から主催者を代表して、「今年のメーデーも昨年に引き続きにおいても、震災からの復興・再生が軸となり、その為にも「雇用と生活の再建」を第一義と捉え、全員で早期の「働くことを軸とする安心社会」の実現をめざそう。とあいさつ。また、私たちを取り巻く環境に触れ、「多くの課題が山積みされており、この解決には政治の安定が不可欠であり党派を超えた政策優先の政治をお願いしたい」と訴えました。

引き続き、決議文2つ(春闘生活闘争未解決組合支援決議、震災1周年特別決議)とメーデー大会宣言を採択し、最後に木原実行委員長の「団結ガンバロー」で式典を閉会しました。



中村知事



野志市長



ご来賓の皆さま



フェスティバルを色どった福島フラダンスチーム



天気に恵まれバザーも好調



友近参議院議員によるサッカー教室



特賞当選者のN T T労組 武井さん

【主としての取り組みと成果】

- ▲ペットボトルキャップ回収 …… 約16Kg (約7,000個) 回収
- ▲チャリティーバザー …… 売上 108,643円
- ▲東北物産販売 …… 売上 145,100円 (完売しました)
- ▲献血 …… 59名



地震体験



ミニS L

2012 春季生活闘争学習会

南予地協 八西支部、大洲・喜多支部

4月5日(木) 18:30より八幡浜市内にて「2012連合愛媛春季生活闘争学習会」を開催し、各支部役員、組合員等から36名が参加しました。

学習会では、連合愛媛 木原会長から開会のあいさつを受けた後、菊川副事務局長より、「連合愛媛2012春季生活闘争の考え方」について、「連合春闘=中小春闘」であることの説明と3月30日現在の愛媛の春闘状況報告を平均賃上げ方式妥結額(加重平均)では対前年比142円プラスで4,935円の報告がありました。中小・地場労組の多くが今から交渉のヤマ場を迎える事から予断を許さない状況であるとの報告も受けました。その後、杉本事務局長より「連合愛媛の活動等」と題し、①今日までの連合愛媛の取り組み、②3.11東日本大震災への対応(ボランティア)、③がれき受け入れ要請の経緯と詳細について説明を受け、愛媛県への要請提出当時のご批判やお叱りの電話・メールを頂いたが、今では全国各地でがれき受け入れが始まろうとしている現状の報告もありました。

最後に、浜田八西副支部長より閉会挨拶があり、連合愛媛の2012年度の春闘の考え方や東日本大震災への対応と復興への対応について参加者全員で確認し終了しました。



開会挨拶 木原会長



説明をする杉本事務局長

南予地協 宇和島・南北宇和郡支部

前日の八幡浜支部 大洲・喜多支部に続き4月6日(金) 18時から宇和島労働会館3Fにて「2012連合愛媛春季生活闘争学習会」を支部役員・組合員等総員46名に集まって頂き開催しました。

学習会では、佐々木宇和島・南北宇和郡支部長からの開会挨拶で始まり、木原会長から「春闘が終わった組織もある。また、今から交渉という中小・地場の組合もあると思うが、是非、粘り強い交渉をお願いしたい」と挨拶がされ、その後、菊川副事務局長より2012年度春季生活闘争の連合愛媛の考え方と現在の状況について報告がされました。杉本事務局長からは、「連合愛媛の活動等」について、「働くことを軸とする安心社会」を目指すに至った経緯、そして今後の「連合運動」の方向性など、また、3.11東日本大震災への対応(ボランティア)、愛媛県に対するがれき受け入れ要請の経緯・意義について提起を受けました。



佐々木支部長



真剣に耳を傾ける参加者

中予・今治地協 中予支部

4月23日(月) 18:00より愛媛勤労会館4Fにて「2012連合愛媛春季生活闘争学習会」を開催し、仕事を終えた各支部役員、組合員45名が参加しました。

学習会では、中予支部の三浦支部長より「連合春闘=中小春闘である、最後まで粘り強い交渉を！」との開会挨拶に引き続き、連合愛媛 木原会長から挨拶を受けた後、菊川副事務局長より、「連合愛媛2012春季生活闘争の考え方」について、①連合愛媛の要求額設定の根拠について、②4月23日現在の愛媛の春闘状況報告を受けました。その後、杉本事務局長より「連合愛媛の活動等」と題し、①働くことを軸とする安心社会に向けて、②3.11東日本大震災への対応(ボランティア)、③がれき受け入れ要請の経緯と詳細について説明を受け、愛媛県への要請提出当時のご批判等の電話・メールを頂いたが、今では全国各地でがれき受け入れが始まろうとしている現状の報告もありました。また、意見交換では、がれき受け入れ要請に対して一部ではあるが、反対の意見がある事も認識する必要があるとの意見も出されました。

最後に、山邊副支部長より閉会挨拶の後、三浦支部長の団結ガンバローで中予支部2012連合愛媛春季生活闘争学習会を締めくくりました。



開会挨拶をする三浦支部長



意見を述べる参加者